

# **個別事業説明書【PR版】**

**教育委員会**

# 1 ソーシャルチャレンジ for High School事業費

高校生が、地域社会と連携しながら地域課題の解決を図る体験的な活動を実践するとともに、愛媛で働く魅力の発信、多世代交流等の様々な活動を行うことにより、地域に愛着を持ち、地域社会で主体的に活躍できる人材を育成する。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

指標	施策	3 若者が活躍できる環境の整備 KGI 県立高校の生徒の県内企業の認知度	現状値 46.2% (R4年度) 目標値 80% (R8年度)
	細施策	3-3 地域を担う人材の育成 KGI 県立高校新規卒業者の就職者のうち県内就職率	現状値 81.7% (R4年度) 目標値 84% (R8年度)

事業イメージ	KPI 地域課題解決学習に取り組めた生徒の割合 (約2%/年増)	現状値 80.2% (R5年度) 目標値 85.0% (R7年度)
--------	----------------------------------	--------------------------------------

事業概要	【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
------	-----------------------

### 1 地域の課題解決プロジェクト

地域課題とその解決策を学習

実施学年・時期は各校の教育課程に基づき設定し、全ての生徒が3年間で一度は参画

- 多様な分野の専門家の同時招へいによるテーマ別グループディスカッション
- 現地でのフィールドワーク・研究成果を発表し合うポスターセッション など

発展 生徒が考えたアイデアの中から地域と協働した活動を実践

例・SDGs達成に向けた地元企業やNPO法人と連携した取組  
 例・環境保全や自然保護に向けた大学と連携した取組 など

高校生による地域の魅力再発見・PR動画の作成

例・地元企業によるSDGs実現への取組や地元Uターン就職者へのインタビュー  
 例・地域の優れた伝統や文化、新たな魅力等を紹介 など

愛媛で暮らすことや、働くことの意義の再発見

成果発表

- 課題解決コンテスト「ソーシャルチャレンジグランプリ」での成果発表
- 実践事例紹介Webページへの掲載、全国規模のコンテスト等へ出品

県内高校生に先進的な取組や成果の普及

地域社会で主体的に活動できる人材の育成

《R5年度の成果》

- 地域の課題解決学習に取り組む学校の増加
- 課題解決に係るコンテスト等への参加増

社会共創コンテスト参加校24校 (R4から8校増)、全国規模の大会でも活躍

### 2 社会共生プロジェクト

在学中に全ての生徒が活動を経験

多世代交流プログラム 幼児や高齢者との交流活動の実施	主権者・消費者教育プログラム 講演、模擬投票、模擬議会等の実施
自己肯定感、他者を思いやる心、豊かな心の育成	政治的教養や消費者意識の高揚

### 1 地域の課題解決プロジェクト 28,786千円

実施校：県立高等学校・中等教育学校（全日制課程）55校（分校8校を含む。）

経費：学年3学級以上50万円程度、学年3学級未満30万円程度

(ア) 課題解決に向けた研究活動

- イベントの企画・運営、宣伝・広告、講師の招へい、商品の開発 など
- 全ての学校が活動成果を「ソーシャルチャレンジグランプリ」に出品
- 「ソーシャルチャレンジグランプリ」優秀校9校は、全ての学校が参加する成果報告会において、実践発表及び意見交換

(イ) 高校生による地域の魅力再発見・PR動画の作成

- 全ての学校がPR動画を作成
- 優秀作品を決定するとともに、教育委員会が作成した特設サイト内で全ての動画を共有

### 2 社会共生プロジェクト

(1) 多世代交流プログラム 2,779千円

実施校：県立高等学校・中等教育学校（全日制課程）55校（分校8校を含む。）

経費：5.1万円程度

(2) 主権者・消費者教育プログラム 952千円

実施校：県立高等学校・中等教育学校（全日制・定時制・通信制課程、専攻科）のべ67校（分校9校を含む。）

経費：1.5万円程度

## 2 えひめジョブチャレンジU-15事業費

令和6年度当初予算(案)  
予算額 13,540千円

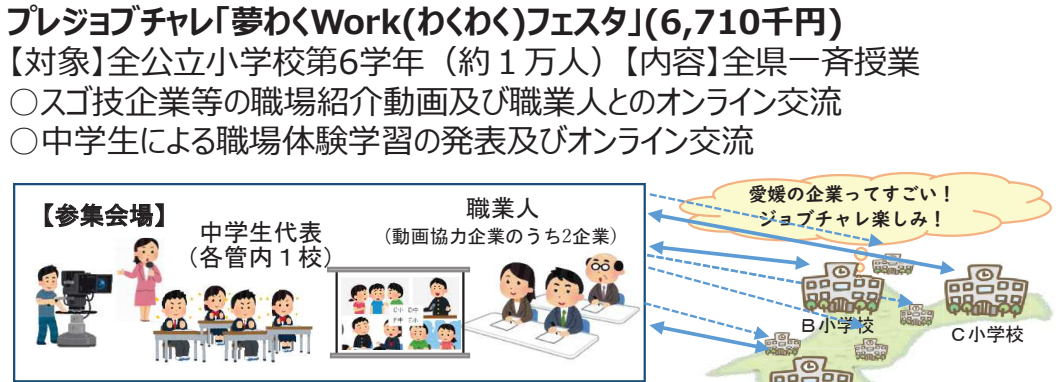
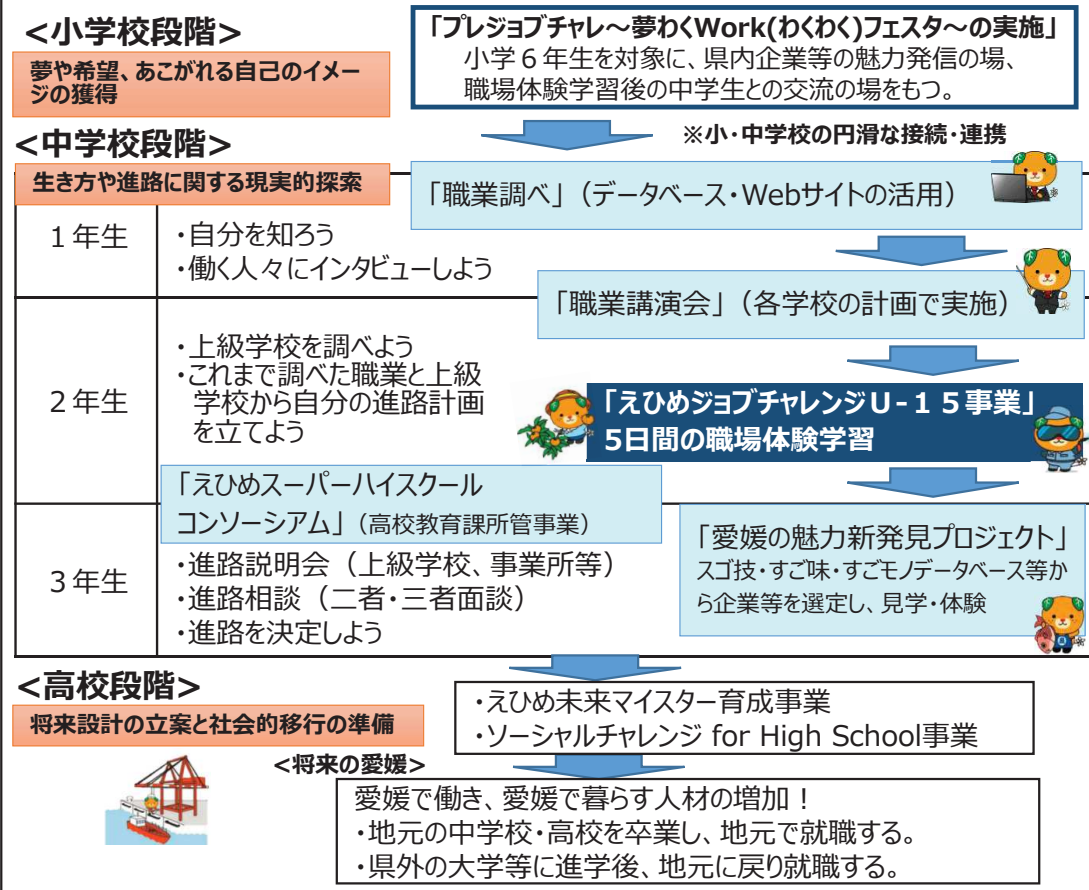
県内全ての中学生が取り組む職場体験学習に加え、小学6年生を対象としたプレジョブチャレを実施し、地域産業や企業等のよさ、地元で働く魅力を実感させることで、義務教育段階での望ましい勤労観、職業観を育成する。

お問い合わせ先  
教育委員会事務局指導部  
義務教育課  
(089-912-2940)

指標	施策	3 若者が活躍できる環境の整備 KGI ①県立高校の生徒の県内企業の認知度 ②若者(15歳~29歳)の転出超過の縮減	現状値 ①46.2%(R4年度) ②3,830人(R4年) 目標値 ① 80%(R8年度) ②2,230人(R8年)
	細施策	3-3 地域を担う人材の育成 KGI 県立高校新規卒業者の就職者のうち県内就職率	現状値 81.7%(R4年度) 目標値 84%(R8年度)

事業イメージ	KPI 職場体験学習が充実していたと回答した中学生の割合 (過去最高のR3年度を更新)	現状値 95.8%(R4年度) 目標値 97.3%(R8年度)
--------	--	------------------------------------

### 事業概要



- えひめジョブチャレンジU-15事業(6,830千円)**
- 5日間の職場体験学習の実施  
実施校：県内全公立中学校125校、県立中等教育学校(前期課程)3校  
参加する生徒は賠償責任保険に加入(保険料は県が負担)
  - 「地域を越えて、愛媛を知ろう! 愛媛の魅力新発見プロジェクト」  
実施校：プロジェクト参加希望校(東・中・南予 各4校程度)  
スゴ技・すご味・すごモノデータベース登録事業所等の見学・体験を行い、コンソーシアム等における発表により成果を普及
  - 登録事業所等データベース及びWebサイトの活用  
データベースの利用を学校及び受入事業所等に促し、学校と受入事業所等のマッチングを図るとともに受入事業所等の確保に努める。また、実施校の取組レポート等を掲載し、事業の周知を図る。

### 3 県立図書館耐震・機能向上改修事業費

利用者の安全・安心の確保と施設の機能向上を図るため、耐震改修工事を実施するとともに、トイレの洋式化などの利用環境の改善対策及び外壁改修などの老朽化対策を行うほか、完全閉館となる工事期間中も図書館サービスを継続させるため、仮設図書館を設置・運営する。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局管理部  
 社会教育課  
 (089-912-2930)

指標	施策	9 スポーツや文化芸術などの充実 <b>KGI</b> スポーツや文化活動、学習活動の実施率	現状値	44.9% (R4年度)
			目標値	54.1% (R8年度)
	細施策	9-4 読書活動の推進 <b>KGI</b> 県内公立図書館の県民1人当たりの年間貸出冊数	現状値	4.2冊 (R4年度)
			目標値	4.9冊 (R8年度)

事業イメージ	<b>KPI</b> 県立図書館の耐震・機能向上化率	現状値	1.9% (R5年度見込)
		目標値	100% (R5~8年度累計)

#### 事業概要

- 耐震・機能向上改修事業費 32,399千円**  
 図書館の耐震改修、利用環境改善・老朽化対策工事を実施するために必要な設計業務等に要する経費
- 仮設図書館移転・運営事業費 63,401千円 【新規】**  
 完全閉館に伴い設置・運営する仮設図書館(アイテムえひめ)の賃借料や必要物品・工事支障物(図書等)の搬出及び一時保管等に要する経費

#### 耐震・機能向上改修 [設計:R5.8~R6.8 工事:R7.1~R8.5(予定)]

- 耐震性能の確保(耐震指標:Is値0.38→0.7以上)
- 施設の機能向上(環境改善・老朽化対策)

耐震改修	耐震壁等の増設・既存壁の補強	
機能向上改修	利用環境改善対策	トイレの洋式化・乾式化 照明器具のLED化 書架の増設等
	老朽化対策	外壁・内壁、床面改修 中央監視装置・空調設備改修等

#### 耐震改修等工事 (R7.1~着工予定)

- ✓安全・迅速な施工
- ✓経費削減のため、

工事期間中は  
**完全閉館**

#### 完全閉館への対応

県民への図書館サービスの継続と事務所機能の移転等の必要性

#### 仮設図書館移転・運営 [仮設図書館運営:R7.2~R8.5(予定)]

- 工事期間中でもできる限り県民サービスを維持するため、一部機能・図書等を仮設図書館に移転させ、図書の閲覧をはじめとした**図書館サービスを継続**

#### 【仮設図書館概要】

移転先	アイテムえひめ(3F展示場 アースホール・スカイホール)
実施サービス	図書等の閲覧・貸出、各種イベント、市町・学校支援等
施設規模 ( )内現図書館	面積:1,060㎡(6,445㎡) 開架図書:約3万冊(11万冊)



【スカイホール】

#### 《整備スケジュール(予定)》

区分	5年度	6年度	7年度	8年度
改修工事		設計期間 R5.8~R6.8(13月)	荷物移転 発注準備 工事期間 R7.1下旬~R8.5(16月)	開館 R8.8頃
仮設図書館			荷物搬入 仮設図書館 設置・運営 R7.2~R8.5(16月)	荷物搬出

※閉館見込期間

# 4 えひめ版学力向上推進事業費

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 義務教育課  
 (089-912-2940)

県独自で開発したCBTシステムの更なる利活用や児童生徒の資質・能力の育成につながる授業改善を推進し、児童生徒の読解力の育成や授業の理解度の向上をはじめとする本県の学びの課題を克服する。※ CBT (Computer Based Testing) とは、コンピュータ上で出題・解答等を行うテスト方式のこと。

指標	<b>施策</b> 10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 <b>KGI</b> 受けが授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていくと感じる児童生徒の割合 現状値 小80.4% 中75.2%(R4年度) 目標値 小 83% 中 79%(R8年度)
	<b>細施策</b> 10-2 確かな学力の定着と向上 <b>KGI</b> 全国学力調査において、学力の定着に関する設問のうち全国平均以上の設問数の割合 現状値 20% (R5年度) 目標値 60% (R8年度)

事業イメージ	<b>KPI</b> ICT機器の活用は勉強の役に立つと思う児童生徒の割合 (小学校、中学校ともに全国1位相当を目指す)	現状値 94.3% (R5年度)
		目標値 97.0% (R8年度)

## 現 状 ・ 課 題

- 全国学力・学習状況調査において小学校国語以外の平均正答率が全国を下回る。  
 > 明らかとなった課題に対する早急な対策が必要 令和5年度全国学力・学習状況調査結果

	国語 (全国)	算数・数学 (全国)	英語 (全国)
小学校	67 (67)	62 (63)	
中学校	69 (70)	50 (51)	43 (46)

▲ 全ての教科の基礎となる  
**読解力の育成**

▲ デジタルとアナログの**ベストミックスによる授業改善**  
 ▲ 教員の**負担軽減**

▲ グローバル化社会で活躍するための**英語力の向上**

## 対 策

### 新 規 事 業

### 継 続 事 業

#### EILS×読み物教材

- 読解力の育成
- > 地域の読み物教材
- > 問題の改編が可能

新聞を活用した  
 読解力問題

#### EILS - PBTの試験導入

- CBTとPBTのベストミックス
- > EILSと連携
- > 教員の負担軽減

#### エキスパート・ティーチャー

授業改善の推進 > 授業研究会の開催

#### 英語力向上講座の開催

- 英語力の向上
- > 英検3級取得率向上
- > オンライン講座

学力向上  
 分かる・できる

## 更なる学校教育の質の保証・向上

全国学力・学習状況調査において、「教科調査」・「授業理解度」共に全国平均以上

## 事業概要

### 1 えひめICT学習支援システム(40,700千円)

※運用保守35,000千円を含む(県1/2、市町1/2)

#### 新規(1) 「EILS×読み物教材」読解力問題CBT化(2,200千円)

> 読解力の育成

〔内訳〕 県内全教職員が使用可能(県内児童生徒約10万人へ出題)

○小学生用50シート 中学生用50シート 計100シート

教員が自由に改編して児童生徒に出題が可能(二次利用ができるよう著作権料込み)

#### 新規(2) 「EILS - PBT」の試験導入及び効果検証(3,500千円)

EILS - PBT...従来の紙テストを採点するシステムをEILSと連携したもの

> CBTとPBTのベストミックス > 授業改善及び業務負担の軽減

〔内訳〕 県内全市町の中学校60校(異なる学校規模)への試験導入及び効果検証

### 2 課題克服システム(5,136千円)

#### 新規(1) エキスパート・ティーチャーによる授業研究会(769千円)

> 授業改善の推進

〔内訳〕 エキスパート・ティーチャー(5教科の県学力診断調査WG委員)が学習指導案等を協議・作成し、代表者が授業を公開。参加者による研究協議

#### 継続(2) 英語力向上講座〔8講座:オンライン開催〕(2,493千円)

#### 継続(3) 学力向上推進主任研修会(1,170千円)

#### 継続(4) 県学習資料作成WG会議(697千円)

#### 継続(5) 学力向上検証会議(7千円)



# 5 未来の学びプログラミング教育推進事業費

令和6年度当初予算(案)  
予算額 48,421千円

生徒のプログラミングスキルや学習意欲の更なる向上を図るため、コンテスト等への参加に向けた支援体制を拡充するとともに、教員向けのセミナーの実施や教育用アプリの新規導入により、情報分野への進学・就職に重点を置いた指導体制の強化を図り、愛媛の将来を担うデジタル人材育成を一層促進する。

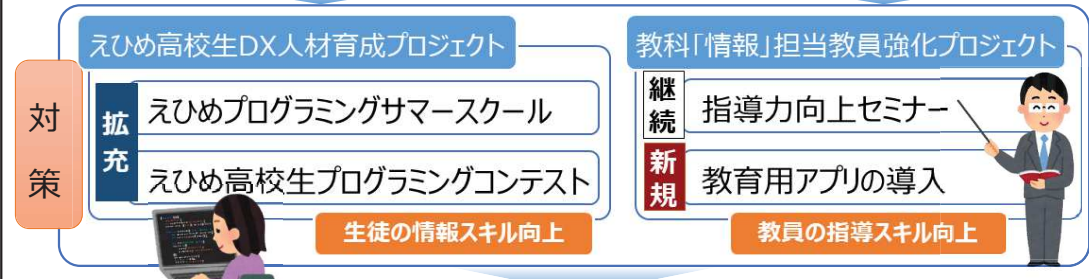
お問い合わせ先  
教育委員会事務局指導部  
高校教育課  
(089-912-2950)

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供	現状値	84.7% (R4年度)
	KGI	県立高校における生徒の教育内容満足度	目標値	87% (R8年度)
指標	細施策	10-3 夢を実現する学力・技術力の保障	現状値	84.7% (R5年度)
	KGI	各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合	目標値	91% (R8年度)

事業イメージ	KPI	全国規模のプログラミング等のコンテスト等での入賞件数 (1件/年増)	現状値	1件 (R4年度)
			目標値	5件 (R8年度)
		与えられた課題に対してプログラムを作成・実行できる生徒の割合 (約20%/年増)	現状値	35.4% (R4年度)
			目標値	100% (R8年度)

**背景と課題**

- 全ての生徒に**プログラミングの必修化** (教科「情報」中心)
  - ➔ 「情報」担当教員の多くは、**プログラミングの指導が未経験**
- 令和6年度実施の**大学入学共通テストに「情報」追加**
  - ➔ 指導スキルに**学校間格差、教員間格差あり**
- 県内4大学に**情報系学部等の新設・拡充**



**事業効果**

- ☑ 生徒のプログラミングスキルの向上、卓越したスキルの習得
- ☑ 教員のプログラミング、データサイエンスの指導力向上
- ☑ 教育用アプリ導入による学習指導環境の充実

愛媛県の将来を担うデジタル人材の育成 ➔ **DX人材1万人輩出へ**

## 事業概要

**1 えひめ高校生DX人材育成プロジェクト 18,000千円**

(1) **えひめプログラミングサマースクール 拡充**

- デジタルコンテンツやアプリ作成等のプログラミング体験講座実施
  - ・中予1会場 ➔ 東中南予3会場でそれぞれ2日開催
  - ・講師：大学教授 ➔ 地元IT企業者等による実践的な技術指導

(2) **えひめ高校生プログラミングコンテスト 拡充**

**新** コンテスト出品希望の生徒へのテクニカルサポートを実施

- ・地元IT企業SEとの座談会(2回)
- ・問合せフォームからウェブ上での相談体制(随時)

○ 高校生の創造性を発揮した作品をコンテスト形式で審査

- ・審査、助言：県、大学、地元IT企業者
- ・参加形態：個人又はチーム

**2 教科「情報」担当教員強化プロジェクト**

(1) **指導力向上セミナー 継続 1,161千円**

- プログラミングやデータサイエンス等の指導法に関する集中講座の実施
  - ・情報教育に携わる民間企業、大学の教授等が講師
  - ・2日開催(全ての高校等の「情報」を指導する教員が受講)

(2) **教育用アプリの導入 新規 29,260千円**

- 1人1台端末を生かした学習指導環境の充実
- 全校導入による指導の教員間格差の是正、生徒の進路保障

生徒への支援

教員への支援

# 6 県立学校振興計画推進事業費

令和5年3月に策定した県立学校振興計画の具体化に向け、「地域に愛され、誇れる学校づくり」を着実に推進するため、統合後の学校の在り方を検討するとともに、多彩で魅力的な選択肢の提供を実現するなど、振興計画の3本柱の実現に向けた取組を実施する。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 <b>KGI</b> 県立高校における生徒の教育内容満足度	現状値 84.7% (R4年度) 目標値 87% (R8年度)
	細施策	10-3 夢を実現する学力・技術力の保障 <b>KGI</b> 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合	現状値 84.7% (R5年度) 目標値 91% (R8年度)

事業イメージ	<b>KPI</b> 振興計画の実現に向けた取組に対して有意義であると感じている生徒の割合 (前期計画終期のR9年度に90%を目指す)	現状値 86.4% (R5年度) 目標値 90% (R9年度)
--------	--	------------------------------------

- 振興計画の3本柱
- これから高校進学する生徒に**多彩で魅力的な選択肢を提供**
  - 職業・学科横断的学習の展開**
  - 進学指導の充実**

○県立学校振興計画の確実な実施に向けて “生徒にとってよりよい教育環境の実現”

<b>適正な学校配置</b> 各地域に一定規模以上の県立学校を設置 学校数：55校→45校	×	<b>魅力ある学校づくり</b> ◇職業系学科の魅力化 ◇普通系学科の魅力化 ◇進学指導の強化 ◇総合学科の拡充 ◇中等教育学校の魅力化 ◇定時制・通信制課程の改編
---	---	---

○前期計画において新しく設置する学校(新学科・コース等を含む) ※下線は統合してできる学校

地区	新しい学校	年度	地区	新しい学校	年度
四国中央	三島	R 7	大洲・喜多	<u>大洲</u>	R 8
新居浜	新居浜東	R 7	八西	<u>八幡浜(仮称)</u>	R 8
西条	<u>周桑(仮称)</u>	R 8	西予	宇和	R 8
	<u>西条総合科学(仮称)</u>	R 8			
今治 越智	今治西	R 8	宇和島 南宇和	<u>宇和島東</u>	R 7
	<u>しまなみ海洋(仮称)</u>	R 8		<u>宇和島南(仮称)</u>	R 9
	今治東中等	R 8		<u>北宇和</u>	R 7
松山 伊予 上浮穴	松山南砥部	R 7	計画実施に向けて	● 準備委員会の設置	
	東温	R 8		● 振興計画の3本柱の実現	
	伊予	R 8		募集停止となった学校をバックアップするとともに、新しい魅力ある学校づくりを実施	
	松山西中等	R 8			
	<u>愛媛風早(仮称)【定通】</u>	R 8			
<u>松山南【定】</u>	R 8				
松山工業【定】	R 8				

- 事業概要
- 県立学校振興計画推進に向けた取組 15,935千円
    - 振興計画の実施のため、統合等を検討している県立高校等のまとまりごとに設置した準備委員会において、新校及び新学科・コース等の**実務的な部分を地域とともに具体化**  
 ≪準備委員会≫  
 学校関係者、市町(教委)関係者、地域関係者等で構成  
 ≪検討内容≫  
 教育課程の研究、産官学との連携、校歌・制服の検討、生徒募集活動等
  - 振興計画の3本柱の実現に向けた取組 28,083千円
    - 多彩で魅力的な選択肢の提供(10,298千円)  
 地域や大学などの有識者の協力を得ながら、実施を検討している**新学科・コース等のカリキュラムを研究し、開発した教材を用いてプレ授業等を実施**  
 ≪新学科等：国際・情報・スポーツ・教員養成・社会共創・マリンビジネス・島の農業等≫  
 (例) 大三島分校において、「島の農業」分野の研究を行い、プレ授業を実施
    - 職業・学科横断的学習の展開(3,608千円)  
 統合を予定している異なる職業学科の連携を図り、**各学科の特色を生かした教材を研究し、学習モデルを構築**  
 (例) 工業科において、農業科の生徒がスマート農業のためドローンなどの機械操作を学習
    - 進学指導の充実(14,177千円)
      - 「**先導的授業実践型モデル校**」を指定し、国内外の教育機関と連携した授業の実施、大学や予備校等と連携した授業の検証・改善
      - 「**探究学習実践型モデル校**」を指定し、地域資源等を活用した探究学習等を研究
      - EILS-PBT(従来の紙テストを採点するシステムをEILSと連携したもの)の導入

# 7 県立学校振興計画校舎等整備事業費

令和5年3月に策定した県立学校振興計画に基づき、新たに設置される学科・コース等に対応できるよう、計画の実現に向けて、必要な施設・設備の整備を行う。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 KGI 県立高校における生徒の教育内容満足度	現状値 84.7% (R4年度) 目標値 87% (R8年度)
	細施策	10-3 夢を実現する学力・技術力の保障 KGI 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合	現状値 84.7% (R5年度) 目標値 91% (R8年度)

事業イメージ	KPI 県立学校振興計画校の整備完了率	現状値 0% (R5年度) 目標値 100% (R5~10年度累計)
--------	---------------------	---------------------------------------

事業概要 【県立学校教育環境整備基金充当事業】

## ○県立学校振興計画 施設整備一覧

○県立学校振興計画に伴う施設整備 1,258,425千円

区分	学校名	施設名	整備内容	R5 R6 R7 R8 R9以降				
				再編・統合後	設計	工事・設備		
新設	西条総合科学*	新館	統合による学級増及び新学科に対応する校舎を新築 統合・新設される学科・コースに必要な設備					
	八幡浜*	本館	老朽化が著しい本館を改築 3校統合による機能集約					~R10
改修等	三島	第1教棟	学科横断型学習教室を整備					
	松山南砥部分校	特別教棟	サテライトオフィスを整備(砥部町が実施)					
	宇和島東	本館増築棟	学科横断型学習教室を整備					
	東温	第3教棟	介護実習室を整備 介護実習設備を整備					
	伊予	普通教棟本館	学科横断型学習教室、情報教室、レッスン室を整備 情報及び芸術関連設備等を整備					
	大洲	第3教棟食品化学科教棟	学科横断型学習教室、農業実習教室を整備					
	八幡浜*	第2教棟実習教棟(仮)	学科横断型学習教室、工業実習教室を整備					
	宇和	本館	情報教室を整備 情報関連設備を整備					
	愛媛風早*	第1教棟	定時・通信制に対応する教室を整備 遠隔授業配信センターを整備					
	松山南	本館	統合・新設される商業科(定時制)に必要な教室を整備 商業科関連設備を整備					
	周桑*	第2教棟	学科横断型学習教室、情報教室を整備 情報関連設備等を整備					
	西条総合科学*	農業科特別教棟	農業実習教室を整備					
	しまなみ海洋*	特別教棟	統合・新設される学科・コースに必要な教室を整備 島の農業・マリビジネスコースに必要な設備を整備					
	宇和島南*	第1・3教棟特別教棟	学科横断型学習教室、情報教室、水産実習教室を整備 情報及び水産実習設備等を整備					
	解体撤去	川之石 外	解体・撤去	キャンパス校において使用しなくなる老朽施設を解体・撤去				

### 【新設】

- 1 西条総合科学高校(仮称)新館【工事】439,119千円
  - ▶ 学校統合に伴う学級数の増加により不足する普通教室
  - ▶ 総合学科(新設)及び家庭科(統合)に必要な実習教室等
 [構造面積] RC造4階 約3,500㎡  
 [建築場所] 現東予高校敷地内

### 2 八幡浜高校(仮称)本館【設計】87,666千円

- ▶ 老朽化が著しい本館を改築
  - ▶ 3校統合に対応できる管理教室、福祉系実習室等
- [構造面積] RC造5階 約4,000㎡
- 
- [建築場所] 現八幡浜高校本館を解体撤去し、跡地に新築

### 【改修等】

### 3 情報系教室の整備【設計・工事】449,544千円

〔設計〕周桑(仮称)など2校 3,238千円  
 〔工事〕三島など6校 446,306千円

### 4 職業系教室の整備【設計・工事】59,954千円

〔設計〕西条総合科学(仮称)など4校 4,316千円  
 〔工事〕東温 55,638千円

### 5 愛媛風早高校(仮称)第1教棟【工事・設備】222,142千円

\*の学校名は仮称





# 8 水産実習船基本設計事業費

令和6年度当初予算(案)  
予算額 18,822千円

宇和島水産高校の水産実習船「えひめ丸」について、老朽化による船体の傷みが進行しているため、実習の安全性を確保し、船舶職員(海技士)を養成するための役割を果たせるよう代船を建造する。

お問い合わせ先  
教育委員会事務局指導部  
高校教育課  
(089-912-2950)

指標

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 <b>KGI</b> 県立高校における生徒の教育内容満足度	現状値	84.7% (R4年度)
			目標値	87% (R8年度)
	細施策	10-3 夢を実現する学力・技術力の保障 <b>KGI</b> 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合	現状値	84.7% (R5年度)
			目標値	91% (R8年度)

## 事業イメージ

<b>KPI</b>	基本設計進捗率	現状値	-
		目標値	100% (R6年度)



5代目えひめ丸  
(499トン)

### 【えひめ丸概要】

定員	59名	全長	57.00m
幅	9.50m	深さ	3.95m
主機	1,800馬力	補機	600馬力×2台
航海速力	12ノット	建造年	H14.11.30

宇和島水産高校の乗船実習で活用しており、毎年、の遠洋航海実習ではハワイ沖で操業実習(マグロはえ縄漁業)を行い、ホノルルへ寄港している。

老朽化による船体の痛みが進行

安全で効果的な実習の確保が必要

代船建造  
(最大699トン)

### 【主要装備について検討】

- 法改正による脱硝装置の追加
- 新型コロナウイルス感染症への対策として衛生設備の追加
- 運航及び生活環境に適したタンク容積等の拡大
- 船内居住スペースの確保 など

船体の大型化が必須

## 事業概要

### 1 代船の基本設計や仕様検討等に係る経費 18,822千円

- 船型・性能、機器や居住区の配置、仕様等を決定し、代船建造に係る必要経費を算出するための基本設計業務の委託
- 仕様等検討のための他県実習船視察
- 宇和島水産高校ほか関係機関との協議
- 代船建造入札の評価基準作成に係る外部学識経験者への意見聴取

### 2 代船建造に向けたスケジュール(想定)

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
基本設計 ※設計業者との打合せ・仕様検討	代船建造 (R7.7~R9.3予定) ※宇和島南高校(仮称)募集案内へ掲載		4月開校に合わせて竣工予定

※愛媛県県立学校振興計画により、宇和島南中等教育学校と宇和島水産高校とが統合し、令和9年度より宇和島南高校(仮称)として開校する。

# 9 えひめ高等学校全国募集促進事業費

地元の市町と強固な信頼関係を築き上げ、「地域みらい留学」参画費の全額補助、公営塾や寮の設置等の支援を実現するなど、特に熱意のある「地域みらい留学」参画校の活動を強力にバックアップし、全国募集活動の強化を図る。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 高校教育課  
 (089-912-2950)

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 KGI 県立高校における生徒の教育内容の満足度	現状値 84.7% (R4年度) 目標値 87% (R8年度)
	細施策	10-3 夢を実現する学力・技術力の保障 KGI 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合	現状値 84.7% (R5年度) 目標値 91% (R8年度)

事業イメージ	KPI 全国募集による入学生徒数の全国順位	現状値 2位 (R5年度) 目標値 1位 (R7年度)
--------	-----------------------	--------------------------------

事業概要	【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】
------	-----------------------

全国募集実施状況	H30年度 実施校数	H31.4 入学生徒数	R元年度 実施校数	R2.4 入学生徒数	R2年度 実施校数	R3.4 入学生徒数	R3年度 実施校数	R4.4 入学生徒数	R4年度 実施校数	R5.4 入学生徒数	R5年度 実施校数
○全国募集実施校数・学科数 ○県外からの入学生徒数 (全国順位)	8校 9学科	11人	13校 14学科	45人 (5位)	14校 16学科	49人 (5位)	14校 17学科	70人 (2位)	14校 17学科	88人 (2位)	13校 17学科
○地域みらい留学参画校数 ○地域みらい留学参画校への 県外からの入学生徒数 (全体に占める割合)	地域みらい留学→ 参画スタート		5校	31人 (68.9%)	6校	31人 (63.3%)	8校	49人 (70.0%)	7校	71人 (80.7%)	7校

※R5の全国募集による入学生徒数全国1位は島根県(215人)

『地域みらい留学』: 県外生徒の確保の有効なプラットフォーム

- 主催:(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム、内閣府等
- 後援:文部科学省、総務省
- 説明会参加者数:約4,400人(R4)
- Facebook登録者数:約7,700人(R5.10)
- 参画校(R5):全国34道府県110校(愛媛7校)※公立高校109校、国立高専1校

【R6年度参画校】

①弓削 ②松南砥部  
 ③上浮穴 ④長浜  
 ⑤内子小田 ⑥三崎  
 ⑦野村 ⑧北宇和

参画校の取組

- 合同説明会による募集活動(全5回)  
・R5年度はオンラインに加え、対面形式の説明会(R5.9 東京)を実施 ※R4年度も同様
- 各校の特色を生かした個別説明会の実施
- HP、SNSを利用したPR活動

参画校への支援内容

- 県外生徒の来県推進
  - ・交通費補助
  - 補助率:1/2、上限2万円
- 学校見学バスツアー
  - ・宿泊費補助
  - ・宿泊、食事体験
  - ・各学校の在校生との交流
- 県内全国募集実施校の高校生アンバサダー
  - ・SNS等による広告配信

1 県外生徒の来県推進 (4,136千円)

学校説明会等に参加する県外生徒に対して、交通費を補助(補助率1/2、補助上限20千円)することにより、本県県立高校を選ぶ動機付けとする。

○対象者:287人  
 (全国1位となる入学生徒数を達成するための補助利用者目標)

2 学校見学バスツアーの実施 (9,928千円)

「地域みらい留学」参画校が企画するイベントへの参加や地域の自然・文化・産業等の体験ができるバスツアーを実施する。

- 夏季:1泊2日(8コース)、2泊3日(4コース)
- 秋季:日帰り(8コース)

(秋季ツアーは、志望校選択が迫った時期の「最後の押し」の効果に期待)

3 高校生アンバサダーによる県内全国募集実施校のPR等 (8,628千円)

「地域みらい留学」参画校の代表生徒を、全国募集実施校のアンバサダーとして、パンフレットやSNS、学校PR動画等に起用する。

また、中学生・保護者世代を対象にSNS広告を配信し、全国募集の認知度上昇、来県補助制度やバスツアーの宣伝等により、来県生徒の増加に繋げる。

SNS広告 媒体: Instagram、Facebook等



# 10 部活動改革・魅力アップ推進事業費

令和6年度当初予算(案)  
予算額 108,904千円

教員の負担軽減を図りながら、各学校や地域の実情を踏まえた持続可能な部活動改革を行い、生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するための体制づくりを進める。

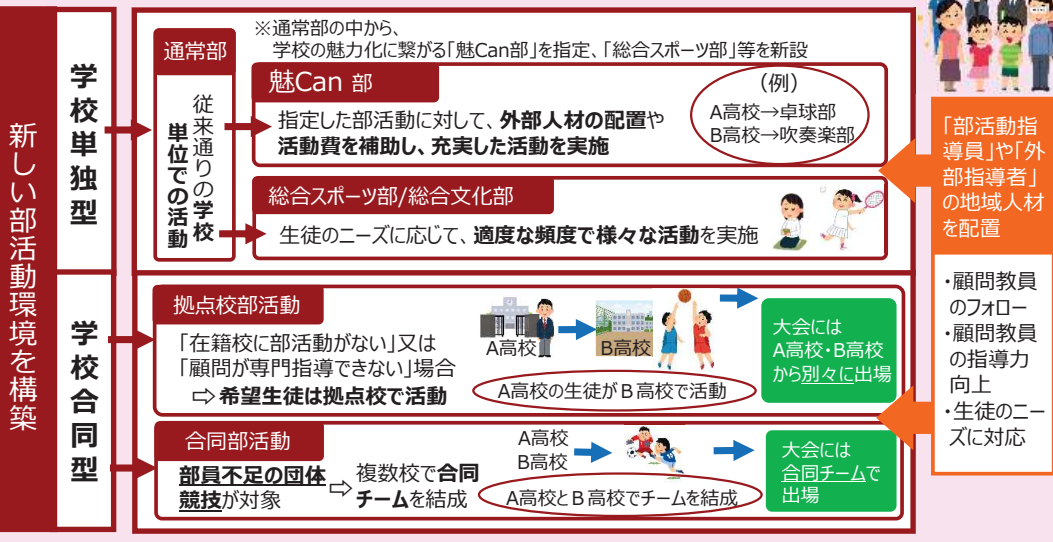
お問い合わせ先  
教育委員会事務局管理部  
保健体育課  
(089-912-2980)

指標	施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供 <b>KGI</b> 夢や目標を持っている児童生徒の割合	現状値 【公立中学】70.3% (R4年度) 【県立高校】81.9% (R4年度) 目標値 【公立中学】71% (R8年度) 【県立高校】84% (R8年度)
	細施策	10-4 健やかな体を育てる教育の推進 <b>KGI</b> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の本県平均点が全国平均点を上回っている部門の数	現状値 3部門 (R4年度) 目標値 4部門 (R8年度)

**事業イメージ** **KPI** 県立高校の全生徒のうち、部活動に加入し、かつ部活動に対して満足している生徒の割合 (2%/年増)  
 現状値 79.2% (R5年度)  
 目標値 86% (R8年度)

## 生徒のスポーツや文化芸術等の活動環境を再構築

**県立高校** = 県立学校の再編を機に **新しい部活動環境の構築** を目指す!



**公立中学校** = 休日の部活動を段階的に地域移行 する!

- **段階的な地域移行の実施** ... 地域移行に係る環境整備や体制構築、実証事業を支援
- **地域連携の実施** ... 実証事業等の実施が困難な場合、部活動指導員を配置し、活動環境の確保から始める

## 事業概要

県立高校対象

- 1 地区別検討会の開催** **新規** 【766千円】  
各学校の拠点校部活動等の活動について、地区別に検討会を開催【年3回×8箇所】
- 2 部活動による各学校の魅力の推進** **新規** 【8,500千円】  
令和6年度から、「魅Can部」モデル校を選定し活動経費等を支援【R5:0部活 → R6:17部活 → R7:51部活 → R8以降:84部活】
- 3 大学生等の外部指導者の活用** **拡充** 【24,291千円】  
○ 専門的な指導等を行い、顧問教員の指導をサポートする【R5:72人 → R6~130人】  
○ 部活動指導員や地域指導者として活躍が期待できる大学生等を活用

公立中学校対象

- 4 地域スポーツクラブ等活動体制整備事業** **拡充** 【31,486千円】
  - (1) 地域移行体制の構築に対する支援【国、県、市町 各1/3】  
休日の部活動の段階的な地域移行体制構築に必要な、地域での協議や調査等への支援
  - (2) 部活動の地域移行に向けた実証事業【国委託 10/10】  
実施主体等の整備、指導者の確保、参加費用負担等、地域移行に向けた取組を推進
  - (3) 地域移行推進のための支援【①、②国委託10/10 ③国1/3】
    - ①外部指導者配置支援(県が大学生を外部指導者として派遣:6人)
    - ②課題解決チームの運営(同じ課題を抱える市町でチームを結成、アドバイザー講師派遣)
    - ③市町連絡協議会の開催(市町間の情報共有や、指導助言を行う協議会の開催)

共通

- 5 部活動指導員の配置** **拡充** 【43,468千円】  
教員に代わる「単独指導」「単独引率」が可能で教員の負担軽減に直結  
<中学校> R5:50人 → R6:96人 <高校> R5:6人 → R6以降:30人
- 6 部活動指導者研修会の実施** **拡充** 【393千円】  
服務や、指導者としての資質向上を図るための研修会を実施【年1回 → 年3回】



# 11 松山城北特別支援学校（仮称）整備事業費

令和6年度当初予算（案）  
 予算額 433,710千円

みなら特別支援学校松山城北分校（松山聾学校敷地内。現：高等部のみ）を拡充し、中予北部の拠点として、小・中・高一貫の「知的障がい」特別支援学校開設に向けた整備を進める。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 特別支援教育課  
 (089-912-2965)

指標	施策	12 特別支援教育の充実 KGI 特別支援学校卒業予定者の進学及び就職希望者の希望達成度	現状値 98.7% (R4年度) 目標値 100% (R8年度)
	細施策	12-1 特別支援教育に係る環境の充実 KGI 特別支援学校設置基準等を満たしていない学校数	現状値 6校 (R5年度) 目標値 4校 (R8年度)

事業イメージ	KPI 整備進捗率	現状値 - 目標値 100% (R6~8年度累計)
--------	-----------	------------------------------

校舎	校舎 軽量鉄骨造 2階建て 3,000㎡ 【普通教室】 小学部(12)、中学部(7)、高等部(7) 【特別教室】 図書室、音楽室、プレイルーム等 【管理室等】 校長室、職員室、事務室、保健室等 内装に木材を使用するなど木質化に配慮	プロポーザルによるデザインビルド方式で実施 デザインビルドとは… 構造物の構造形式や主要諸元も含めた設計を、施工と一括して発注する方法。 <メリット> ・民間知識・技術を活用 ・事業の時間短縮 ・コスト削減 ・発注作業の負担軽減 専門的かつ高度な技術提案 = 優れた成果を期待
----	---	--

寄宿舍・食堂	食堂棟 鉄筋コンクリート造 2階建て 1,336㎡ ○厨房及び食堂（両校の給食に対応） ○集会室及びカフェスペース（地域等との交流の場） 寄宿舍棟 木造 2階建て 625㎡ ○定員男女各6名 ○舎室、浴室、娯楽室、洗濯場など、生活に必要な諸室
--------	--

新設校のランドデザイン (R5.8)

めざす学校 「きらめく愛顔 地域とともに」  
 ★ 自分らしく輝き、生き生きと学び続ける子を育てます  
 ★ 地域とつながり、地域に貢献する人材を育成します

松山聾学校の食堂・寄宿舍を改築し **食堂棟を整備**  
 接客スキルを生かして **城北おもてなしカフェをopen**

軽量鉄骨プレース造 **新校舎(3,000㎡)整備**  
 普通教室のほか、  
 ・プレイルーム  
 ・作業実習室  
 等、充実した設備

R8入学生より高等部にキャリアデザイン科を新設	児童生徒数	小学部	中学部	高等部	計
R8入学定員 普通科16名 キャリアデザイン科8名		50	30	72	152
	学級数	12	7	10	29



## 事業概要

R6事業

松山城北特別支援学校(仮称)の設置に向けて、老朽化している松山聾学校の寄宿舍と食堂棟を設計。新校舎についてプロポーザルによるデザインビルド方式で発注。

(1) 校舎 基本・実施設計～工事 (設計費 49,720千円、工事費 346,280千円)	396,000千円
(2) 食堂棟 実施設計 (寄宿舍 実施設計を含む) (設計費 35,580千円)	35,580千円
(3) 事業推進費 報償費・旅費・需用費 等	2,130千円

## スケジュール

区分	5年度	6年度	7年度	8年度
校舎		プロポーザル実施	設計 工事期間 R7.3～R8.2末	開校準備 開校
食堂棟		発注手続	工事期間 R7.3～R8.3	解体 解体工事 R8.8～R8.11 外構工事 R8.12～R9.2
寄宿舍	耐力度調査	設計 R6.2～R6.8	解体 解体設計 R7.8～R8.1 工事期間 R7.11～R8.7	発注手続



# 12 特別支援学校医療的ケア児通学支援モデル事業費

令和6年度当初予算(案)  
 予算額 3,736千円

医療的ケア児の安全・安心な通学環境と保護者の負担軽減の実現に向け、保護者の送迎・付き添いがなくても医療的ケア児が通学できるよう、自宅から学校までの間を看護師が同乗した介護タクシーで移送する通学支援の試行・検証を実施する。

お問い合わせ先  
 教育委員会事務局指導部  
 特別支援教育課  
 (089-912-2965)

指標	施策	12 特別支援教育の充実	現状値	98.7% (R4年度)
	KGI	特別支援学校卒業予定者の進学及び就職希望者の希望達成度	目標値	100% (R8年度)
細施策	12-2 教育的コースに応じた学びの充実	現状値	78.1% (R4年度)	
	KGI	個別の指導計画の年間目標に到達した児童生徒割合	目標値	100% (R8年度)

事業イメージ	KPI	通学支援モデル確立に向けた課題解消率	現状値	-
			目標値	100% (R6年度)

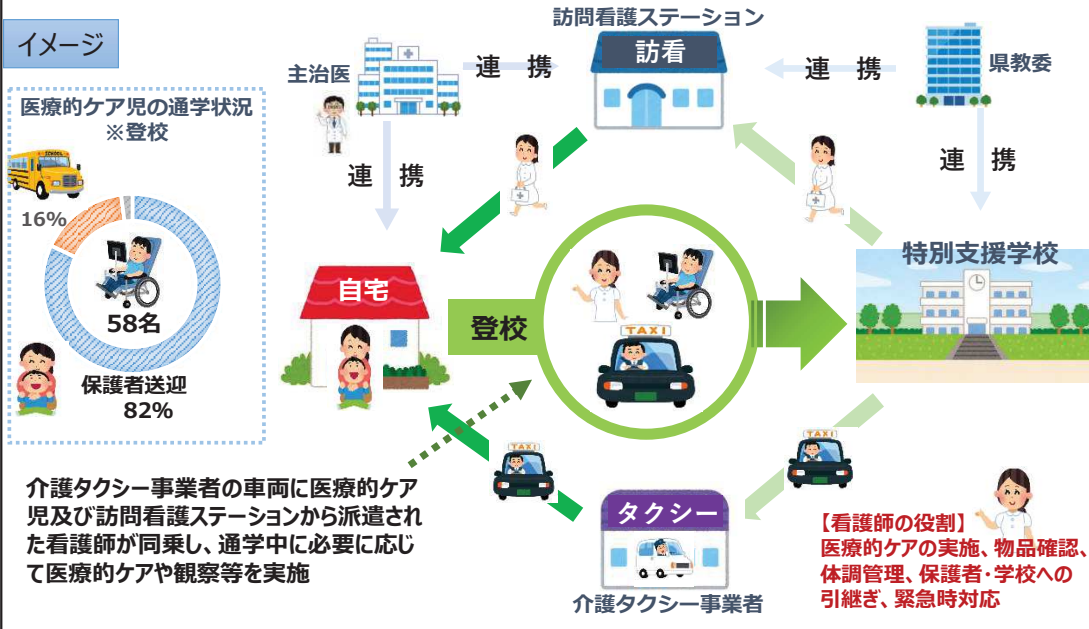
**目標** 医療的ケア児の通学に係る保護者の負担軽減

**課題**

- ✓ 医療的ケア児はスクールバスでの通学が著しく困難
- ✓ 保護者送迎は、身体的・精神的に過大な負担
- ✓ 学校付近への転居、就労制限や離職を伴うなど、世帯の子育て環境の改善が必要
- ✓ 通学支援制度の創設を望む声

**効果**

- ★ 安全・安心な通学環境の実現
- ★ 保護者の負担軽減・QOLの向上 (医療的ケア児支援法への対応)
- ★ 保護者の就業・子育て支援に寄与



## 事業概要

- 1 事業の対象者**
  - ◎スクールバス通学が困難で保護者が送迎している医療的ケア児のうち2名
- 2 事業の実施体制【登校のみ実施】**
  - ◎保護者と合意した訪問看護ステーションと県教委が契約
  - ◎保護者・学校・介護タクシー事業者の3者で移送に関する契約
  - ◎医療機関、県訪問看護協議会等との連携
- 3 事業費 3,736千円** (※(2)を除く)
 

(1)業務委託費	3,552千円
訪問看護ステーションへの業務委託 (国費1/3)	
(2)介護タクシー利用料	(814千円)
※特別支援学校就学奨励費にて予算計上 (国費1/2)	
(3)事業推進費	184千円
- 4 事業スケジュール**

4月～7月	夏休み	9月～	1月	2月～3月
関係者間協議・事業打ち合わせ	契約	2学期：試走、事業開始 ヒアリング・効果検証 (9月以降、随時)	3学期：事業再開	事業検証会 検証とりまとめ



# 13 いじめSTOPつながる力育成事業費

令和6年度当初予算(案)  
予算額 25,096千円

子ども達の間関係構築力(人よりよい関係を築く力)の育成に向けたプログラム開発と県内の小中学校をオンラインで接続したライブ授業の実施を通じて、子どもの心の育ちと教職員の学級づくりを支援することで、子ども達をいじめの被害者にも加害者にもしない取組の推進や不登校支援につなぐ。

お問い合わせ先  
教育委員会事務局指導部  
人権教育課  
(089-912-2960)

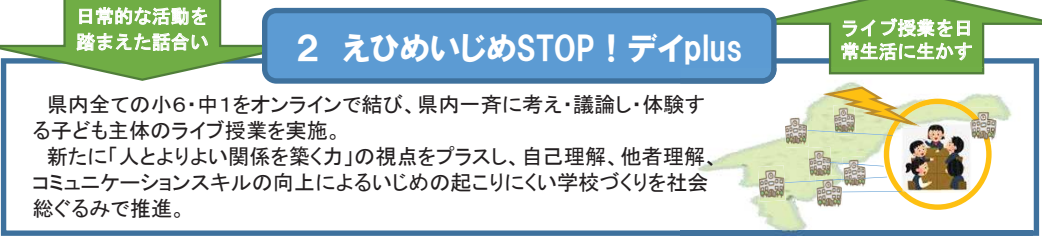
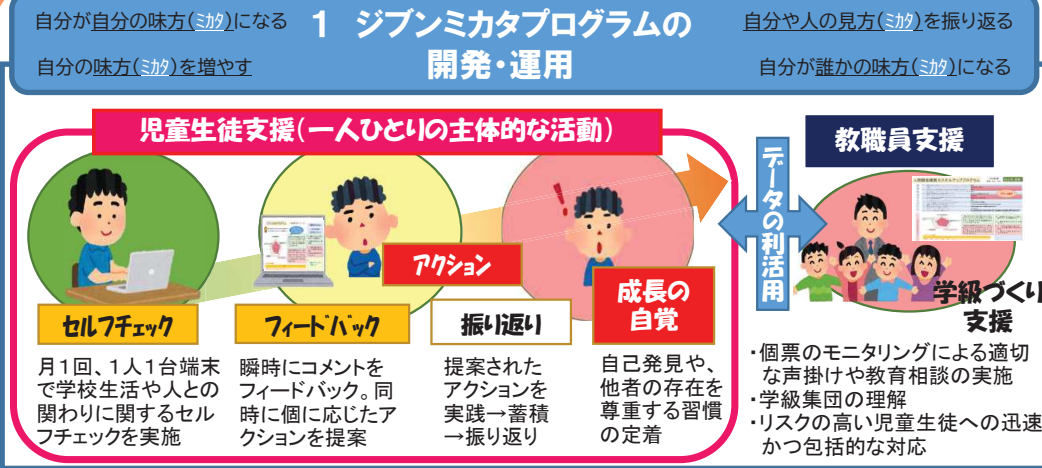
指標	施策	13 全ての子どもたちの学びの保障	現状値	小・中22.0人 高校16.5人 (R3年度)
	KGI	1,000人あたりの不登校児童生徒数	目標値	小・中 20人 高校 13人 (R8年度)
	細施策	13-1 いじめ対策の推進	現状値	98.1% (R3年度)
	KGI	いじめを受けた児童生徒のうち相談した割合	目標値	100% (R8年度)

## 事業イメージ

**KPI** 本事業を通じて人よりよい関係を築く意欲が高まっている児童生徒割合

現状値 (参考)いじめの解決に主体的にかかわろうとする意欲が高まった児童生徒割合: 51.8% (R4年度)

目標値 100% (R8年度)



人よりよい関係を築く力の育成 → いじめ対策・不登校支援

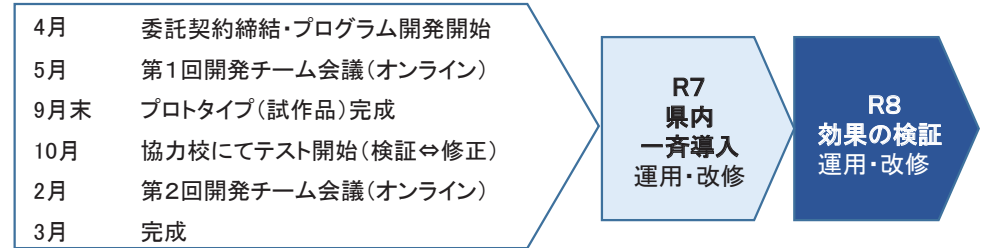
## 事業概要

### 1 ジブンミカタプログラムの開発 17,128千円 ※「三浦保」愛基金を活用

- 対象者: 公立及び県立の児童生徒(小5~中3 約55,000人)及び教職員
- 実施頻度: 毎月1回のセルフチェック+日常的なアクションの蓄積と振り返り
- 利用システム: 県GBTシステム(EILSの機能拡充)
- 開発チーム

開発協力校 6校(東中南予小中各1校) ・テスト実施・検証を行う	県デジタルコーディネーター	人間環境大学 総合心理学部	県教委 市町教委
-------------------------------------	---------------	------------------	-------------

### 5) 開発スケジュール



### 2 えひめいじめSTOP! デイplus 開催 7,968千円

- 開催時期等 令和6年11月 中予会場から限定YouTube配信
- 参加者 約23,000人(県内すべての小6・中1 総学校数 412校)
- 実施方法 センター校 2校、リモート校 4校(プログラム開発協力校 6校) サテライト校 406校  
・センター校からの問題提起及び専門家(県内講師)によるワークショップ  
・センター校とリモート校とのオンラインでの意見交換  
・サテライト校での意見共有や今後の取組へのエール(県内著名人)
- 普及啓発 6月 周知ポスター作成・配付(各学校・教育関係機関)  
12月 ドキュメンタリー番組放映(地上波 30分)  
2月 愛顔の子ども新聞発行(学校・地域掲示用、児童生徒用デジタル新聞)